

第5学年2組 国語科学習指導案

令和5年11月21日(火)第5校時

児童数 31名 5年2組教室

指導者 長江 ひろみ

1 単元名・教材名

資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして書こう(11時間扱い)

「固有種が教えてくれること～グラフや表を用いて書こう～」

2 研究主題との関わり

(1)研究主題

「多様な学びを生かした新しい学習活動の創造」

～聞き合い、伝え合い、深く考える児童を目指して～

(2)仮説と手立て

仮説1 他者との意見の共有や比較をさせることで、自分の考えを深めることができるだろう。

【手立て】 国語科の授業の中で自分の意見をしっかりと持たせる指導をする。

→「ぼくのお父さん」の活用

①「ぼくのお父さん」を通して論理的な構造を理解させる。

②「固有種が教えてくれること」の論理的な構造を読み取る

仮説2 話し合いを通して自分の意見に立ち返ることで、深く考える力を育むことができるだろう。

【手立て】 思考を整理できるワークシートを活用する。

3 単元の目標

(1) 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。

【知識及び技能】(2)イ

(2) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

【思考力、判断力、表現力等】B(1)エ

(3) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)ウ

(4) 粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を書こうとしている。

【学びに向かう力、人間性等】Bエ

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。・・・(2)イ	・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。・・・B(1)エ ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 C(1)ウ	・粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しを持って、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を書くようとしている。

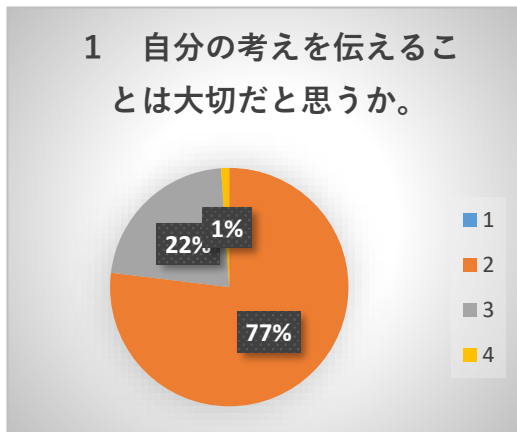
5 単元について

(1) 児童の実態

児童はこれまでに、さまざまな単元において説明文を学習した。「みんなが過ごしやすい町へ」では、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えながら、調べたことを正確に報告する文章を書いた。児童は、調べたことを報告する文章を書いたり、文章の要旨を捉えながら説明文を読んだりする学習に慣れつつある。また他教科でも、国語や理科、算数の学習を通して地図、表、グラフ、写真といった多様な資料を活用し、そこから読み取れることを考えながら学習活動を行ってきた。

学習アンケートの結果から質問1「自分の考えを伝えることが大切だ」と感じている児童は8割を超えている。しかし、質問3「学習で自分の考えを伝えるのは好きですか」の質問に対しては約3割の児童がどちらかというところ好きではない・好きではないと回答している。

このことから、ワークシートを活用しながら自分の考えを持たせ、相手に伝える場面を設けることで、自分にはない考えを吸収し、考えを広げる対話の機会を設けたい。さらに思ったことや感じたことを伝え合い、他者と比較することで、見方や考え方を広げて深く考える力を育みたい。



質問1「自分の考えを伝えることは大切だと思いますか」という回答に対して8割の児童が大切だと回答している。

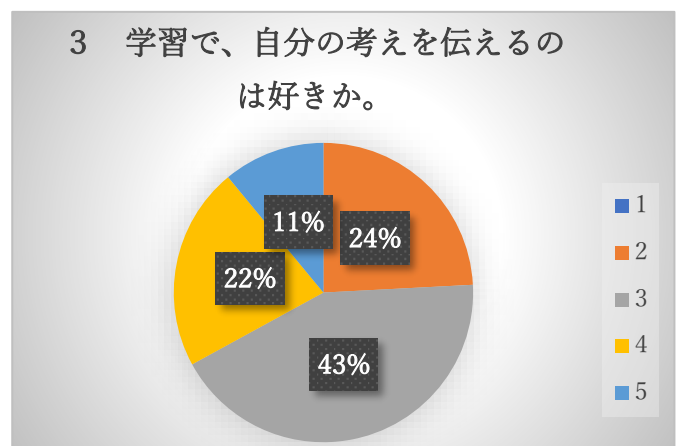
理由

- ・自分の考えを相手がわかってくれる。
- ・友達の考えが分かる。
- ・友だちの意見を参考にできる。
- ・考えを共有できる。
- ・コミュニケーション力が上がる。

質問3「自分の考えを伝えることは好きですか」という回答に対して3割の児童が好きではないと回答している。

理由

- ・自分の考えを言うのが恥ずかしい。
- ・考えが間違っていたら恥ずかしい。
- ・誰かが言ってくれる。
- ・注目されるのが嫌。



(2) 教材観

単元は、小学校学習指導要領国語における第5学年の指導事項【思考力、判断力、表現力等】B(1)「エ引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」、C(1)「ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること」を受け、設定したものである。この説明文は、説明的な文章教材「固有種が教えてくれること」と「グラフや表を用いて書こう」で構成される複合単元である。「固有種が教えてくれること」は、地図、表、写真、グラフといった多様な資料を提示しながら筆者が主張を展開している。一つ一つの資料の意味や効果を考えることを通して、資料を利用して自分の考えを伝えるよさに気付くことができる。さらに、それをいかして、「グラフや表を用いて書こう」で、これからの社会について資料を用いながら自分の考えを書く内容となっている。個人が学んだ内容を生かせる展開となっており、自分の考えを文章に書く学習に向けて、主体的に取り組むことができる教材である。

(3) 指導観

本学級の子供たちは、これまでに挿絵や写真を手掛かりに文章を読み取ったり、伝えたいことに合う具体例を選んで文章を書いたりすることができるようになってきている。そこで、文章と図表、グラフなどの資料を結び付けて書かれている内容を理解し、文章と資料を対応させて書くことができるようになるこの時期に本単元を取り上げる。そして資料を効果的に使い、主張に説得力をもたせる筆者の論の進め方を生かし、環境保護をテーマに自分の主張に合う資料を選び、説得力ある文章を書くことができるようにする。

6 単元の指導計画・評価計画

時	学習活動	評価の観点			評価規準 (評価方法)
		知	思	主	
1	資料を活用した文章を読み、学習活動の見通しをもつ。		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 文章と図表などの関係に注意して通読し、初発の感想をもっている。(発言・記述) 学習課題を捉え、学習活動の見通しをもっている。(発言・記述)
2	文章の構成を押さえて論の進め方を確認し、内容の全体を捉える。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使っている。(発言・記述) 目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、自分の考えが伝わったりするように書き表し方を工夫し、論の進め方について考えたりしている。(発言・記述) 粘り強く、文章と図表等を結び付けて読んで、説明の工夫や筆者の考えを理解し、自分の考えをもとうとしている。(発言・記述)
3	文章と資料を結び付けたり、その効果を考えたりして要旨をまとめる。				
4	筆者の考えなどについて、自分の考えをまとめるとともに資料を使った本を読む。				
5	統計資料の読み方を理解し、興味を持った資料や文章を読むときに生かす。				
⑥ 本時	資料から分かることと、考えられることをまとめ、考えを伝え合う。				
7	自分が選んだ資料について自分の考えをもち、「社会がくらしやすい方向に向かっているかどうか」判断する。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(発言・記述) 読み取った説明の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を進んで書こうとしている。(発言・記述)

8	資料から分かることと考えられることを書き出し、文章構成を考える。				
9	図表やグラフを用いて、考えが伝わるように下書きに書き表す。				
10	下書きを推敲し、文章を完成させる。				
11	観点に注意して読み合い、文章の良い所を見つける。		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・図表の使い方などの観点で、お互いの文章のよいところを伝え合っている。(発言・記述) ・単元全体の学習を振り返ろうとしている。(発言・記述)

7 本時の指導(6 / 11)

(1) 目標

資料から分かることと、資料から考えられることをまとめ、自分の考えを伝え合うことができる。

(2) 評価規準

資料から分かることと、資料から考えることを書き出し、伝え合い、考えを深めている。

【思考・判断・表現】

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 国語コーナーで学びを振り返る。	○既習事項の想起と確認	・自分で選んだ資料を基に、特にみんなに伝えたい内容を伝えることをおさえる。	3
2 本時のめあてを確認する。			2
資料から分かることと、資料から考えられることを伝え合い、自分の考えを深めよう。			
3 ワークシートを確認する	○「資料からわかること」と「資料から考えられること」の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの内容で2つの観点にそって書いてあるか、確認する。 ・伝え方の確認をする。 	5
4 自分の考えを伝える。 (グループ活動)	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を活用したわかりやすい伝え方 ○友達の考えに対する自分の考えの伝え方 ○自分と他の児童の共通点や相違点 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を交流していく中で、考える視点が変わったり、考えが変わったりしてもよいことを伝える。 ・「なるほど意見」は赤鉛筆で付け足す。 	15

<p>5 全体で発表し合う。</p> <p>6 本時の振り返りを行う。</p>	<p>評価 【思考・判断・表現】</p> <p>(評価方法) 机間指導</p> <p>(C)の児童への手立て</p> <p>個別に声かけをして、ワークシートに書いてある内容を確認させる。</p> <p>(A)の児童の姿</p> <p>友達の考えを聞き、より説得力をもたせるためにどうしたらよいか考えている。</p> <p>○伝え合いの中での考えの深まり</p> <p>○今日の学習から学んだことをワークシートに記入する。</p>	<p>・資料の効果的な使い方について伝える。</p> <p>○本時の学習から学んだことをワークシートに記入させる。</p>	<p>10</p> <p>10</p>
---	--	---	---------------------

(4)板書計画

ⓧ 十一月二十一日(火)

話し合いの流れ

○資料から分かることと、考えられることを発表する。

○出た意見について話し合う。

○社会は暮らしやすい方向に向かっていくか話し合う。

★『なるほど意見』は赤で書き足す。

資料からわかることと、資料から考えられることを伝え合おう。

※ワークシート

振り返り

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

資料

資料から分かること

資料から考えられること

②『資料からわかること』、資料から考えられることを伝え合おう。

名前